

## 「組織再編とPDCAサイクルによる推進」

普代村教育振興運動推進委員会

### 1. 組織再編の経緯

#### (1) 再編前の現状

～H21 3実践区（小学校区） ※H22は小学校統合初年度で編成が困難であったため活動休止  
教振の活動の実態

- ・副校長（教頭）を中心に活動
- ・副校長（教頭）の負担大
- ・学校中心の活動（学校の取組み≒教振運動）

副校長（教頭）以外の自主性の欠如

H23 小学校統合に伴い（3校→1校）再編が必要となった

#### (2) 再編の目的

- 5者それぞれの役割の明確化
- 自主性を引き出す
- 小中一緒の活動（小中一貫教育との関連）

#### (3) 地区の分け方（実践班の数）

小学校の地区PTAに合わせる。→9実践班に分かれ、1実践班あたりの世帯数が少なくなる。

中学校の地区PTAに合わせる。→5実践班。世帯数のバランスが良く、活動しやすさが見込まれる。

#### (4) 再編におけるポイント

- 実践班の構成メンバーに教育委員会事務局職員とPTAの地区担当の先生を入れた。
- 3実践区→5実践班
- 中学生の参加

☆ 再編の経緯とポイント（変更点）について、各地区の懇談会で教委事務局職員が説明。




再編の完成

### 2. 再編からのリスタート

#### (1) 再編にあたり担当者が意識したこと

- 改めて基本的なところから始める
- 3つの「初めて」 ①統合された小学校 ②3実践区→5実践班 ③中学生の参加
- 丁寧に取り組む

## (2) PDCA サイクルを取り入れた活動

Plan 計画	実践班ごとに地区テーマを設定し、テーマに沿った活動内容を計画。	H23.7.21 教育振興運動実践班リーダー研修会
Do 実行	計画をたてた活動を実施。	H23.7~1 夏休み・冬休み（子ども会活動）
Check 評価	実践班のメンバーで自己評価（反省）をし、まとめる。	H24.1.24 教育振興運動実践班リーダー研修会
Act 改善	班ごとにまとめた自己評価を発表し、全体で分かち合う。意見交流を行い（中学生も参加）新たな課題を見出す。	H24.2.4 教育振興運動推進大会
 新たな（次年度の）Plan へつながる		

## 3. 再編の振り返り（成果と課題）

### ○ 成果

- ・教育委員会事務局職員、PTA の地区担当の先生の参画により、学び直しや意見交流が積極的に行われ、それぞれの役割を再認識することができた。
- ・中学生の参画により、小中学生合同の活動で互いに刺激があった。集約集会では中学生との意見交流も実現した。

### ● 課題

- ・再編後の実践班の分け方は、一班の地理的範囲が広く話し合いの場を持ちづらかった。
- ・高校生の参画はなかった。